

IEEE1394&USB 2.0/1.1 CD-R/RW+DVD-ROMユニット

ユーザズマニュアル

LCW-52DVFU2

目次

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| 取扱い上のご注意 | 1 |
| ごあいさつ | 5 |
| ご注意 | 5 |
| 付属品の確認 | 6 |
| 第1章 ご使用の前に | 7 |
| 1.1 本製品の特徴 | 7 |
| 1.2 使用上のご注意 | 9 |
| 1.3 各部の名称 | 10 |
| 1.4 設置方向について | 11 |
| 第2章 接続について | 12 |
| 2.1 接続の前に | 12 |
| 2.2 接続の手順 | 15 |
| 2.3 接続結果の確認 | 17 |
| 2.4 USBドライバのインストール | 18 |
| 2.5 Windows Me での設定 | 20 |
| 2.6 ソフトウェアのインストール | 22 |
| 第3章 取り扱いについて | 25 |
| 3.1 メディアのセット/取り出しについて | 25 |
| 3.2 本製品を取り外す場合は | 27 |
| 第4章 補足事項 | 31 |
| 4.1 トラブルシューティング | 31 |
| 4.2 デバイス上の登録名について | 34 |
| 4.3 Windows XP で直接書き込みを行う場合 | 35 |
| 4.4 使用環境について | 36 |
| 4.5 その他 | 38 |
| 4.6 IEEE1394 機器の増設について | 39 |
| ハードウェア仕様 | 41 |



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

| | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。 |
|  | 注意 | この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。 |



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

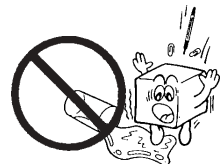
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



⚠ 警告

分解 / 改造しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。
分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で使用してください。

電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



電源コードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電 / 火災の原因となります。



水場で使用しないでください。

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないでください。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品内部のレーザー光線を直視しないでください。

本製品はレーザー光線を使用して記録型メディアへの書き込み、読み込みを行います。この光線が直接目にあたると視力障害を及ぼす恐れがありますので、本製品の起動中に内部を除いたり、分解した状態で電源を入れたりしないでください。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないでください。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



⚠ 注意

電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。





注意

本製品の稼動中に電源コード、ケーブル類を抜かないでください。
データの損失、機器の故障の原因になります。



その他の
禁止事項

通風孔(ファンはき出し口)はふさがないようにください。過熱による火災、故障の原因となります。



コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、ホコリの多い場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをしてください。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

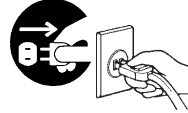
注意

電源スイッチを一度OFFにした時は5秒以上たってから「ON」
にしてください。

1・2・3・4・5



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードのプラグをコンセントから抜いておいてください。



オーディオCDを再生するときは

本製品を使用して、オーディオCDを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



その他の
禁止事項

映像や音楽作品は著作権法の保護を受けています。本製品のご使用にあたっては、著作権法で定められた範囲を逸脱しないように十分ご注意ください。本製品で変換/保存した映像や音楽作品は、個人的な環境で私的使用する場合以外、著作権者本人の許諾無く使用する事は、著作権法で固く禁じられています。違法なコピーは絶対に行わないでください



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は本製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROM/DVD-ROM ソフトウェアの内容の多くは、著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。Pentium®、Celeron®は米国Intel社の登録商標です。WinCDR は株式会社アプリアックスの商標です。PowerDVD はサイバーリンク社の商標です。Superlink™は、MediaTek Incorporationの登録商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

付属品の確認

| | | |
|-------------------------------------|------|----|
| CD-R/RW+DVD-ROMユニット | 1台 | |
| IEEE1394ケーブル(6ピン-4ピン) | 1本 | |
| USBケーブル(USB 2.0 High-Speed対応) | 1本 | |
| 縦置き用スタンド | 1セット | |
| 横置き用ゴム足 | 1セット | |
| 「Software Pack」CD-ROM | | |
| (以下のソフトウェア・ドライバ含む) | | |
| 「WinCDR Lite」 | 一式 | |
| 「PowerDVD (OEM版)」(DVDビデオ再生) | 一式 | |
| 「Windows 98用USBドライバ」 | 一式 | |
| WinCDR Lite ライセンスカード | | 1枚 |
| 保証書/ユーザー登録カード | 1枚 | |
| CD-R/RW+DVD-ROMユニット・ | | |
| ユーザーズマニュアル | 本書 | |

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

CD-R/RW ライティングソフトウェア「WinCDR Lite」および、DVD再生ソフトウェア「PowerDVD」は1枚のCD-ROM「Software Pack」におさめられています。また、CD-ROM内にはWindows 98用USBドライバも含まれていますので、大切に保管しておいてください。

第 1 章

ご使用の前に

1 . 1 本製品の特徴

- ・本製品はIEEE1394接続とUSB 2.0接続でCD-Rメディアへの52倍速書き込み、CD-RWメディアへの24倍速書き換え、DVD-ROMの読み込み、DVDビデオの再生に対応したCD-R/RW+DVD-ROMユニットです。
Ultra SpeedタイプのCD-RWメディアにも対応しておりますので、最大24倍速でのCD-RWメディアの書き換えを行うことができます。
- ・CD-R/CD-RWメディア書き込みの際のバッファアンダーランエラーを防止する「Superlink」機能を搭載しておりますので、高速書き込み時も安定して書き込みを行います。
- ・DVD-ROM、DVDビデオをはじめ、書き込み型DVDやDVD-RAMメディアなど、各種DVDメディアの読み込みに対応しています。
- ・CD-R/RWで使用頻度の高い「バックアップ機能」「ISO 9660（データ）書き込み」「オーディオCD書き込み」の機能を提供するアプリックス社製のライティングソフトウェア「WinCDR Lite」を付属しています。「WinCDR Lite」はこれらの機能をクリックだけの簡単操作で使いこなすことのできるライティングソフトウェアです。
- ・DVDビデオ再生ソフト「PowerDVD」を付属しています。このソフトウェアを使ってリージョンコード「2」を含むビデオクリップ等のDVDビデオタイトルを再生することができます。
- ・Windows XPでは「エクスプローラ上での書き込み」「Windows Media Player上からの書き込み」に対応しています。「エクスプローラ上からの書き込み」ではCD-R、CD-RWメディアに対してライティングソフトウェアを使用することなくファイルをコピーする感覚で、データCD、オーディオCDの書き込みが可能です。

対応する書き込み方式

| | |
|-------------------|--|
| 「Disc at once」 | 量産CD-ROMのプレマスタ作成を行う場合などに使用します。 |
| 「Track at once」 | 追記書き込みを可能にします。 |
| 「Session at once」 | 付属ライティングソフトウェアで「Enhanced CDのバックアップ」を行う場合等に使用します。 |
| 「Packet Write」 | 擬似的なランダムアクセスを可能にします。（本製品にはPacket Writeを使用するソフトウェアは付属していません。） |

WinCDR Liteでは、ISO9660は「Track at once」、AudioCDは「Disc at once」と規格により書き込み方式が固定されます。

書き込み・読み込み速度について

本製品では各メディアに対して、下表のような書き込み・読み込みが可能です。

| | | | |
|------------|---------------------------------|--|-------------|
| 書き込み *1 | CD-R *2 | 52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速、4 倍速 | |
| | CD-RW *3 | Ultra Speed | 24 倍速、12 倍速 |
| | | High Speed | 10 倍速、4 倍速 |
| | | Multi Speed | 4倍速 |
| 読み込み | DVD-ROM *4 | 最大 16 倍速 (Single Layer) 最大 8倍速 (Dual Layer) | |
| | DVD-R、DVD-RW *4 DVD+R、DVD+RW | 最大 6 倍速 | |
| | DVD-RAM *4 | 最大 2倍速 | |
| | CD-ROM *1 | 最大52倍速 | |
| | CD-R、CD-RW *1 | 最大40倍速 | |

*1 USB 1.1 接続には最大 8 倍相当となります。

*2 CD-Rメディアへ書き込みを行う場合は、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

*3 CD-RWメディアで12倍速、24倍速での書き込みを行う場合はUltra Speed対応のメディアを、10倍速での書き込みを行う場合は、High Speed対応のメディアを必ずご使用ください。

*4 USB 1.1 接続時は、標準速未満。DVD ビデオの再生はできません。

Second Edition でない Windows 98 の場合、DVD ビデオの再生はできません。

特色

- CD-ROM : 読み込み専用のメディアです。パソコンのソフトウェアから音楽 CD まで、幅広い用途で使用されています。
- CD-R : 一度だけ書き込みが可能なメディアです。いったん書き込んだデータは消去できません。書き込み方式によっては、追記書き込みが可能です。
- CD-RW : 約 1,000 回までの書き換えが可能なメディアです。
- DVD-ROM : 読み込み専用のメディアです。DVD ビデオ等の用途で使用されています。



ご注意

本製品では、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-RAMの各メディアへの書き込みはできません。読み込みのみの対応となります。

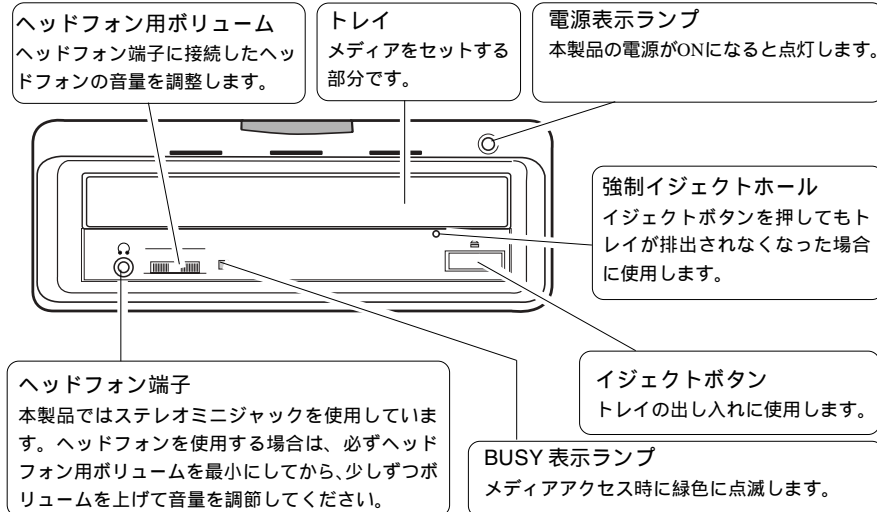
1.2 使用上のご注意

- ・本製品はDVDメディアへの書き込みには対応していません。
- ・本製品はフェーズ2仕様のドライブですので、リージョンコードが内部に記録されています。このリージョンコードは出荷時「2」(欧州/日本/中東/南アフリカ)に設定され、ユーザーによる書き換えはできません。DVDビデオは、メディアとDVD再生ソフト、DVD-ROMドライブ(本製品)のリージョンコードが一致していないと再生できません。
- ・本製品でDVDビデオの再生を行う場合は、パソコン側にIEEE1394インターフェースまたはUSB 2.0インターフェースが搭載されている必要があります。また、Second EditionでないWindows 98の場合はDVDビデオの再生はできません。
- ・本製品はバスパワーによる電源供給には対応しておりません。
- ・偏重心、ソリ、キズ、変形など異常なメディアを使用しないでください。最悪の場合、ドライブ内部でメディアが破損することがあり、危険です。

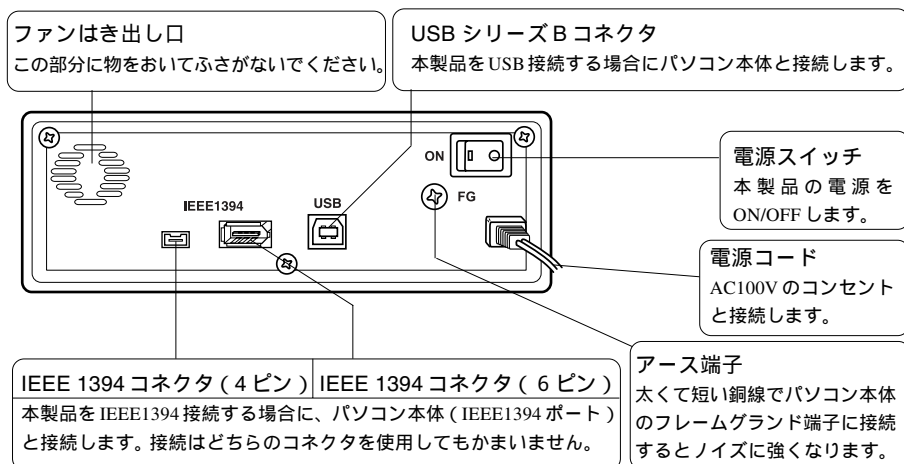
1.3 各部の名称

本製品前面

1

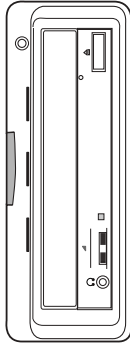


本製品背面

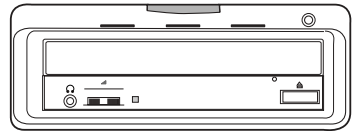


1.4 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

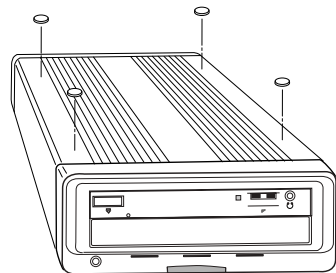
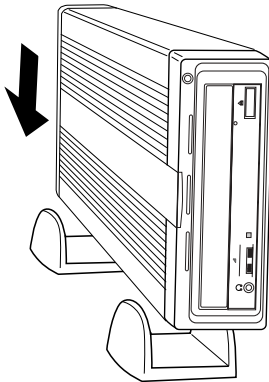


縦置きの場合



横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。（下左図）
横置きの場合は、底面の4箇所に付属のゴム足を貼付してください。（下右図）



上図は底面を上にするため、設置方向と逆になっていますので、ご注意ください。

第2章

接続について

本製品はIEEE1394ポート、USB 2.0ポート、USB 1.1ポートいずれにも接続できます。ただし、本製品をUSB 1.1ポートへ接続した場合、データ転送速度はFull-Speed (12Mbps) までとなり、DVDビデオの再生は行えません。また、CD-R/RWメディアへの書き込み/読み込み速度は最大8倍速相当までに制限されます。

2.1 接続の前に

本製品を接続する前に、以下の点をご確認ください。

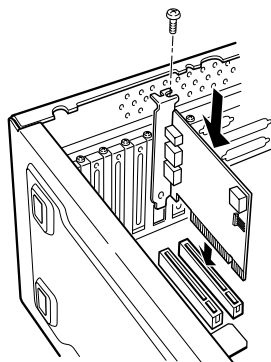
● 接続の際のご注意

- ・本製品のIEEE1394インターフェース、USBインターフェースの両方を同時に接続して使用することはできません。
- ・接続の際、必ずはじめに本製品の電源をONにしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。
- ・本製品はハブ経由では接続しないでください。ハブを経由して接続すると正常に動作しません。
- ・本製品はバスパワーで使用することはできません。必ず電源コードをコンセントに接続してください。
- ・複数のUSB機器またはIEEE1394機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに本製品を接続するのはやめてください。トラブルの原因となります。
- ・本製品をUSB 2.0で使用される場合、パソコン本体への接続は必ずUSB 2.0ポートへ接続してください。USB 1.1ポートでの使用も可能ですが、その場合の機能はCD-R、CD-RWメディアへの読み込み/書き込み、CD-ROMの読み込みのみとなります。
- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1ポートへ接続して使用する場合もなるべく本製品付属のものかUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。
- ・複数のIEEE1394機器を接続する場合は、「4.6 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

インターフェースボードの接続

パソコン本体に IEEE 1394 ポートまたは、USB 2.0 ポートがない場合は別売りのインターフェースボード（PCI バス用インターフェースボード、もしくは CardBus 対応インターフェースカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェースボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。ただしその場合の機能は CD-ROM の読み込み、CD-R/RW メディアへの書き込みのみとなり、読み込み・書き込み速度は 8 倍速未満に制限されます。）



IEEE 1394、USB 2.0 のインターフェースボード/カードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 IEEE 1394 インターフェースボード

| 型番 | バス | 備考 |
|-------------|-----|---------------|
| LHA - 1394V | PCI | インターフェースボード単体 |
| LVC - MG 2L | | ビデオ活用キット |

CardBus 対応 IEEE 1394 インターフェースカード

| 型番 | バス | 備考 |
|-----------------|---------|---------------|
| LPM - CB 1394L | CardBus | インターフェースカード単体 |
| LVC - MG 2 / CB | | ビデオ活用キット |

PCI バス用 USB 2.0 インターフェースボード

| 型番 | バス | 備考 |
|------------|-----|---------------|
| LHA- USB2N | PCI | インターフェースボード単体 |

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード

| 型番 | バス | 備考 |
|-------------|---------|---------------|
| LPM- CBUSB2 | CardBus | インターフェースカード単体 |

IEEE1394 ドライバのアップデート

(IEEE1394 接続時、Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE 1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE 1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「Software Pack」CD-ROM に収録されています。

Windows 98 Second Edition をご使用の場合、以降の作業を行う前に、「Software Pack」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットして自動起動するセットアップランチャーから「その他」を選択し、「Windows 98 SE 用 IEEE 1394 アップデータ」をインストールしてください。

2



1. 「その他」ボタンをクリックします。



2. 「Windows 98 SE 用 IEEE 1394 アップデータ」ボタンをクリックしてアップデートファイルをインストールしてください。



ご注意

上記の作業は Windows 98 Second Edition のみで必要なものです。Windows Me や Windows XP、2000 では行わないでください。

セットアップ画面が自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

ここで入力する「Q:」は CD-ROM がセットされている CD-ROM ドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。

2.2 接続の手順

接続はパソコンの電源がONになっている状態で行います。

このとき、Windows XP, 2000 をご使用の場合は管理者権限のあるユーザーとしてログオンしてください(「コンピュータの管理者」や「Administrators」等)。
IEEE1394、USBいずれの接続の場合も、他の機器が動作しているときに本製品の接続を行うのはやめてください。トラブルの原因となります。

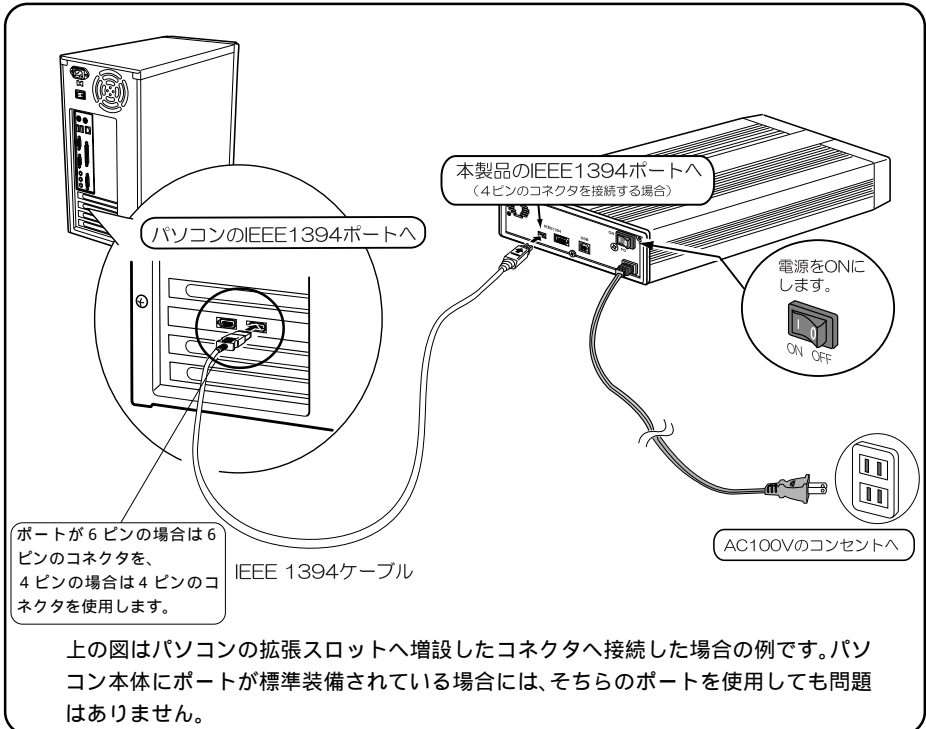
IEEE 1394 接続の場合の接続手順 (下図参照)

本製品の電源コードのプラグをAC100Vのコンセントに接続して電源をONにします。

付属の IEEE 1394 ケーブルで本製品とパソコンを接続します。

接続先のパソコンの IEEE 1394 ポートが 6 ピンタイプの場合、4 ピンのコネクタを本製品に接続してください。

接続先のパソコンの IEEE 1394 ポートが 4 ピンタイプの場合、6 ピンのコネクタを本製品に接続してください。

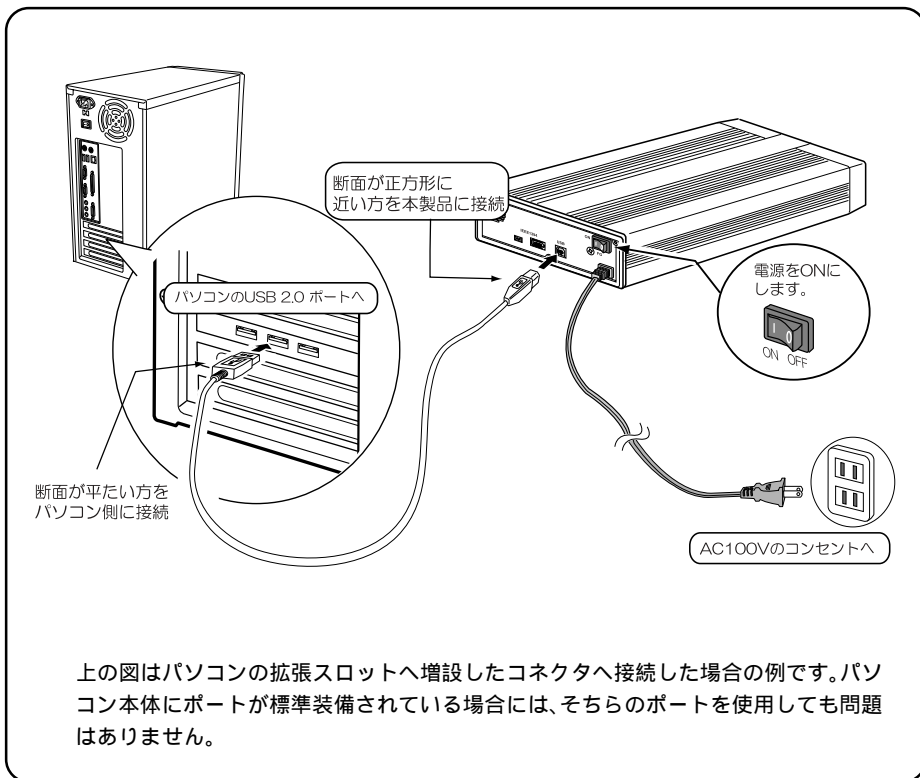


USB 接続の場合の接続手順（下図参照）

本製品の電源コードのプラグをAC100Vのコンセントに接続して電源をONにします。

付属の USB ケーブルで本製品とパソコンを接続します。

- ・本製品側と USB シリーズ B コネクタ（正方形に近いコネクタ）を接続します。
- ・パソコン側と USB シリーズ A コネクタ（平たいコネクタ）を接続します。



2 . 3 接続結果の確認

Windows 98（Second Edition 含む）をご使用で本製品を USB 接続でご使用の方は接続後 USB ドライバのインストールをおこないません。次ページ「2 . 4 USB ドライバのインストール」へお進みください。

Windows XP , Me , 2000 の場合

接続後、本製品が自動的に認識され Windows の標準ドライバがインストールされます。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールして CD-R/RW 書き込み、DVD ビデオ再生の準備をします。「2 . 6 ソフトウェアのインストール」へお進みください。

Windows Me を USB 接続にてご使用の場合はその前に CD-ROM の自動挿入機能を OFF に設定する必要があります。「2 . 5 Windows Me での設定」をご参照ください。



Windows XP で表示
されるアイコン



Windows Me , 98 , 2000 で表示
されるアイコン

アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4 . 1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。

2.4 USBドライバのインストール

Windows 98 (Second Edition 含む) で USB 接続時のみ

インストール手順

接続が完了すると、本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で
2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵のCD-ROMドライブに本製品付属の「Software Pack」CD-ROMをセットしてください。ここでセットアップランチャーが起動した場合は閉じておいてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして

2. ここに、半角英数字で以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥USBCYPRE¥WIN98



3. 「次へ」をクリック

Point ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「Software Pack」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



ドライブ名

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上でUSBドライバのインストールは終了です。「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き、右のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。次に付属のソフトウェアをインストールしてCD-R/RW書き込み、DVDビデオ再生の準備をします。「2.6 ソフトウェアのインストール」へお進みください。アイコンが新しく登録されない場合は、第4章の「4.1 トラブルシューティング」に従ってチェックを行ってください。



2.5 Windows Me での設定

(USB 接続時のみ)

本製品を USB 接続でご使用になる場合、Windows Me ではソフトウェアのインストールを行う前に、以下の手順で本製品の CD-ROM 自動挿入機能を OFF に設定してください。

「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

「デバイスマネージャ」のウィンドウが表示されます。

1. CD-ROM のアイコンをダブルクリックしてください。
2. 「SAMSUNG CDRW/DVD SM-352B」をクリックして選択状態にして、
3. 「プロパティ」ボタンをクリックします。



本製品 (SAMSUNG CDRW/DVD SM-352B) のプロパティウィンドウが表示されます。

1. 「設定」タブをクリックして「設定」ウィンドウを表示させます。
2. 「切断」のチェックボックスだけにチェックマークを入れて、
3. 「OK」ボタンをクリックします。



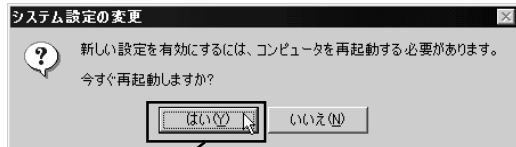
再び「デバイスマネージャ」ウィンドウに戻りますので、「閉じる」ボタンを押してください。

「閉じる」ボタンをクリック



「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

「はい」をクリック



再起動が完了したら、本製品の接続とインストールは終了です。続いてCD-R/RWへの書き込み、DVDビデオ再生の準備をします。「2.6 ソフトウェアのインストール」へお進みください。

2.6 ソフトウェアのインストール

接続後、本製品はDVD/CD-ROMドライブ（リーダー）として使用することができます。次に、付属の「SoftwarePack」CD-ROMから、ライティングソフトウェア「WinCDR Lite」と、DVD再生ソフトウェア「PowerDVD」をそれぞれインストールしてください。

インストール方法

コンピュータの電源を入れ、「Software Pack」CD-ROMをCD-ROMトレイにセットしてください。

自動的にセットアップランチャーが起動し、右の画面が表示されます。インストールするソフトウェアのボタンをクリックしてください。

インストールするソフトウェア名のボタンをクリック



以下のような画面に切り替わりますので、「インストール」のボタンをクリックしてください。この後は各ソフトウェアのインストールウィザードが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行います。インストール中の注意事項につきましては、次ページ以降をご参照ください。

このボタンをクリック



WinCDR Lite を選択した場合

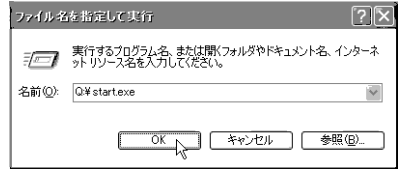
このボタンをクリック



PowerDVD を選択した場合

セットアップランチャーが自動的に起動しない場合は、タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、表示される画面で「Q:¥start.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

ここで入力する「Q:」はCD-ROMがセットされているCD-ROMドライブのドライブ名です。環境により異なりますので、正しいドライブ名を指定してください。



ご注意

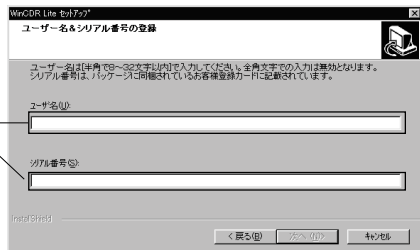
- ・ソフトウェアがインストールされていない状態では、CD-R、CD-RW メディアへの書き込み、DVD ビデオの再生はできません。
- ・Windows XP、Windows 2000 をご使用の場合、ソフトウェアのインストールを行うには、管理者権限のあるユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」など）としてログオンしている必要があります。
- ・Windows 98 ではPowerDVD をインストールしても DVD ビデオの再生は行えません。

インストール中の注意事項

WinCDR Lite

インストール中に以下の「ユーザー名 & シリアル番号の登録」画面が表示されます。ご使用のユーザー名および「WinCDR Lite」のシリアル番号を入力してください。ここではすべて半角英数字を使用してください。全角文字での入力は無効となります。

ユーザー名とシリアル番号をそれぞれ入力します。



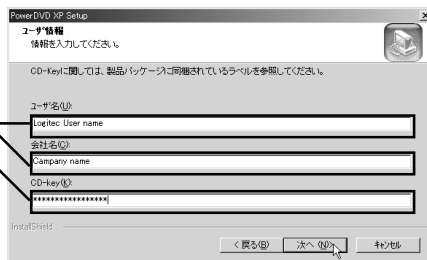
- ・ユーザー名は半角で 8 文字から 32 文字までの英数字で入力してください。
- ・ここで入力するシリアル番号は「WinCDR Lite」のシリアル番号です。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

WinCDR Lite のシリアル番号は、本製品付属の「WinCDR Lite ライセンスカード」に記載されています。

PowerDVD

インストール中に以下の「ユーザ情報」入力画面が表示されます。ご使用のユーザ名、会社名および「PowerDVD」のCD-keyを入力してください。ユーザ名、会社名には日本語が使用できます。CD-keyは半角で入力してください。

ユーザ名、会社名と
CD-keyをそれぞれ入
力します。



- ・ここで入力するCD-keyは「PowerDVD」のCD-keyです。本製品自体のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

PowerDVDのCD-Keyは本マニュアルの巻末に記載されています。

使用方法について

「WinCDR Lite」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」(Windows XPの場合は「すべてのプログラム」)
「WinCDR」 「WinCDR ユーザーガイド」

「PowerDVD」のご使用方法は、インストール後以下の場所に保存されているPDF形式の「ユーザーガイド」をご参照ください。

「スタート」 「プログラム」(Windows XPの場合は「すべてのプログラム」)
「CyberLinkPowerDVD」 「PowerDVD Users Guide」

ユーザーガイドはPDFファイル形式でソフトウェアと一緒にパソコンにインストールされます。PDFファイルを参照するには「Acrobat Reader」が必要となります。ご使用のパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、セットアップランチャーの「その他」ボタンをクリックして表示される画面からインストールできます。

第3章

取り扱いについて

3.1 メディアのセット/取り出しについて

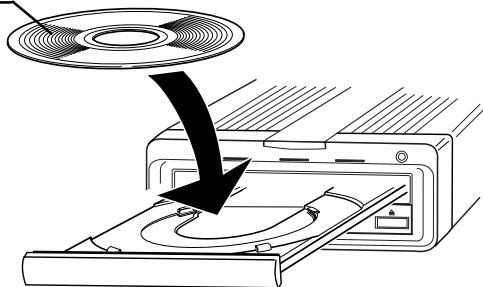
メディアのセット方法

メディアをセットするときは、本製品の電源がONになっている状態でイジェクトボタンを押してください。トレイが排出されますので、メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。

イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されメディアがセットされます。

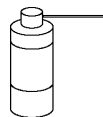
メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出するか、マイコンピュータ上から本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を実行してください。

タイトル面を上にします。



⚠️ ご注意

- ・メディアをセットしたまま本製品を移動すると、メディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、本製品の電源を切るときにはメディアがセットされていないことを確認してください。
- ・メディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。メディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーナでエアを吹き付けて、メディアとトレイの清掃を行ってください。
- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

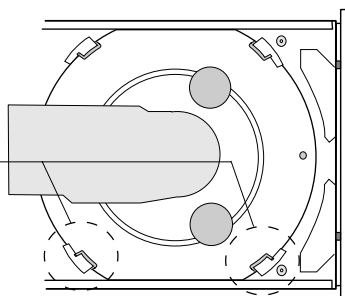


ダストクリーナ

縦置きで設置した場合のご注意

本製品を縦置きで設置した場合は、メディアをセットする際にトレイ下部の2カ所のツメでメディアを支えるようにしてください。

ツメ



縦置きで設置した場合、8cm ディスクは全て使用できません。ご注意ください。

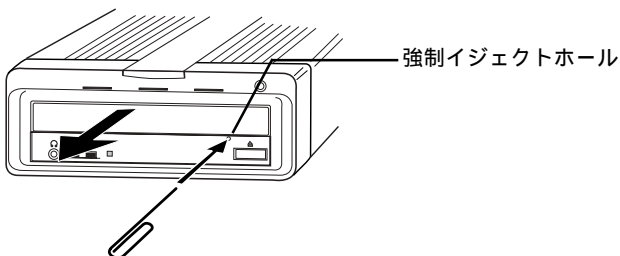
メディアが取り出せなくなった場合

何かの原因で本製品のイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まず本製品のBUSY表示ランプを確認してください。点滅していない場合には、セットしているメディア内のファイルをすべて終了して一度本製品をパソコン本体から外し、本製品の電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制的に排出(強制イジェクト)することができます。これを行なうときには、必ず本製品の電源をOFFにしてください。

大きめのクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押ししてください。

トレイが2～3cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・ 本製品に電源が供給されている状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。
- ・ Windows 環境では、セットしたメディア内のファイルが開いている状態では、トレイを排出することができません。

3.2 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとして IEEE1394 & USB を採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、以下のような点に注意してください。

- ・書き込みを行うソフトウェアが起動しているときに、本製品を取り外してはいけません。取り外しはソフトウェアを終了してから行ってください。
- ・取り外しを行う前に、本製品からメディアを取り出しておいてください。

上記の点を確認したら、以下の手順で取り外しを行ってください。

取り外しの手順（IEEE 1394 接続の場合）

IEEE 1394 接続の場合は以下の手順で本製品を取り外してください。

- ・Windows 98 Second Edition の場合、以下の手順で取り外しを行うには IEEE1394 ドライバのアップデートが必要です。
- ・本製品や併用している IEEE1394 機器のアクセス中に、取り外してはいけません。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。次ページを参照してください。）

Windows 2000 の例



このアイコンをクリック

3.2 本製品を取り外す場合は

Windows XP の場合

「LOGITEC LCW IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「IEEE 1394 CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 98 Second Edition の場合

「1394/USB CD-ROM : ドライブ(E:)の停止」

Windows 2000 の場合

「LOGITEC LCW IEEE1394 SBP2 Device - ドライブ (E:) を停止します」

Point

ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

3

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されず。OK ボタンをクリックしてください。

Windows 2000 の例



OK ボタンをクリック

Point

ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

取り外しの手順（USB 接続の場合）

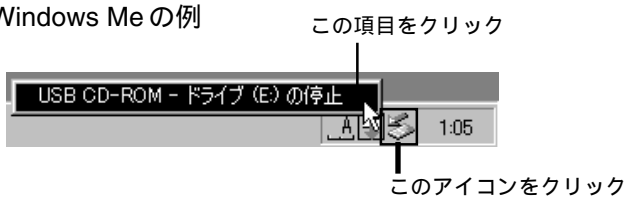
USB 接続の場合は、以下の手順で本製品を取り外してください。

- ・本製品や併用している USB 機器のアクセス中に取り外してはいけません。

本製品にセットされたメディアからアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。（ここで表示される項目の内容は使用 OS によって異なります。）

Windows Me の例



Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB CD-ROM - ドライブ(E:)の停止」

Windows 98 (Second Edition 含む) の場合

「SAMSUNG CDRW/DVD SM-352B を止める： ドライブ (E:) の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します。」

Point ポイント

いずれの場合も「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

3.2 本製品を取り外す場合は

デバイスを安全に取り外すことができることを示すウィンドウが表示されます。
OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の例



OK ボタンをクリック

Point ポイント

- ・このウィンドウに表示されるメッセージも使用 OS によって異なります。
- ・Windows XP の場合は、「ハードウェアの取り外し」のフキダシが出て、自動的に消えるので、特に操作をする必要はありません。

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品がまったく認識されない。

- ・ケーブルの接続に接触不良等がないかどうか確認してください。
- ・電源コードの接続やコンセントの状態に問題がないかどうか確認してください。
- ・USB 2.0ボードまたはIEEE1394ボードのドライバは正しくインストールされていますか？
また、使用OSのバージョンに問題はありますか？
- ・ご使用のOS、パソコン本体は本製品の動作条件に適合していますか？「4.4 使用環境について」を参照してご確認ください。
- ・BIOSのセットアップでUSBが「Disabled（無効）」となっていないかご確認ください。
- ・本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに直接接続して試してみてください。本製品はハブ経由での接続では正しく動作しません。
- ・「4.2 デバイス上の登録名について」を参照し、本製品の項目が正しく登録されている事を確認してください。

本製品がライティング・ソフトウェアから認識されない。

- ・ソフトウェアを起動してから、本製品を接続しませんでしたか？ 本製品は必ずソフトウェアを起動する前に接続してください。
- ・ライティングソフトウェアは最新版のものを使用していますか？ 同じソフトウェアでもバージョンが古いと本製品に対応していない場合があります。

特定のDVD-ROM / CD-ROMにアクセスできない

- ・OSがサポートするフォーマット形式のメディアですか？ Windows環境の場合、Macintosh用のCD-ROM（HFSフォーマット）はアクセスできません。
- ・そのメディアはオーディオCDではありませんか？通常のCD-ROMのようにアクセスできない場合はメディアプレーヤーなどで再生してください。
- ・そのメディアは「2」以外のリージョンコードを持つDVDビデオではありませんか？ そうである場合は著作権者によって日本国内での使用を禁止されていますので、本製品で再生することはできません。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

- ・「3.1 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

USB 2.0 インターフェースに接続しているのにメディアの読み出し動作が遅い。

- ・接続に使用しているUSBケーブルは本製品付属のもの、またはUSB 2.0 High-Speed対応のものですか？
- ・USBハブ経由で本製品を接続していませんか？本製品はUSBハブを介して接続すると正常に動作しません。

Windows 98 環境で USB ドライバをインストールしたが、マイコンピュータにアイコンが登録されない。

WinCDR 上の、「レコーダ選択画面」で「仮想レコーダ」のみが表示され、レコーダ名が表示されない。

- ・ USB ドライバの再インストールを行う必要があります。
- 1. 「4 . 2 デバイス上の登録名について」を参照しデバイスマネージャに必要なデバイスが登録されていることが確認してください。
- 2. 登録されていない場合、「デバイスマネージャ」ウィンドウに「?その他のデバイス」という項目と、その下に枝分かれが表示されているか確認してください。(枝分かれが表示されていない場合は、「?その他のデバイス」をダブルクリックしてください。)
- 3. 枝分かれの部分に「?? USB Storage Adapter」と表示されていれば、それが誤まって認識されたドライブです。
- 4. 「?? USB Storage Adapter」をクリックし、選択状態にしてから画面内の「削除」ボタンをクリックします。
- 5. 「コントロールパネル」を閉じ、本製品をパソコンから取り外してから、パソコンをいったん終了させます。
- 6. パソコンを再度起動して、Windows が起動した後、本製品を接続してください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますので、この後は本書を参照し、インストール手順に従って作業を行ってください。

メディアの書き込み時にエラーが多発する。

- ・適切な使用環境で使用していますか? 本製品の使用環境については、「4 . 4 使用環境について」をご参照ください。

サスペンドモードから復帰できない。

- ・本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能は OFF にしてご使用ください。

パソコン上で DVD ビデオが再生できない。

- ・本製品を USB 2.0 インターフェースまたは IEEE1394 インターフェースに直接接続していますか? USB 1.1 インターフェース接続では、DVD ビデオの再生はできません。
- ・Power DVD は正しくインストールされていますか?
- ・リージョンコード「2」以外の DVD ビデオを再生しようとしていませんか? これは日本以外の国を対象とした DVD ビデオですので、本製品では再生できません。
- ・リージョンコードの書き換えを行っていませんか?
- ・ご使用の OS は Windows 98 ではありませんか? 本製品は Second Edition でない Windows 98 では DVD ビデオの再生はできません。

その他：ホームページについて

弊社、および添付ソフトウェアの各メーカーではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合がありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/>

サイバリンク株式会社

ホームページアドレス：<http://www.cli.co.jp/>

4.2 デバイス上の登録名について

本製品がパソコン側から正常に認識されると Windows のデバイスマネージャに以下の項目が追加されます。

| OS | 項目 | 登録されるデバイス名 | |
|------------------|--|---|--------------------------------------|
| | | USB接続時 | IEEE 1394接続時 |
| Windows XP | DVD/ CD- ROM ドライブ | SAMSUNG CDRW/DVD SM- 352B USB Device | LOGITEC LCW IEEE 1394 SBP2 Device |
| | SBP2 IEEE1394 デバイス | - | SBP2 準拠 IEEE 1394 SBP2 デバイス |
| | USB (Universal Serial Bus) コントローラ | USB大容量 記憶装置デバイス | - |
| Windows Me | CD-ROM | SAMSUNG CDRW/DVD SM- 352B | SAMSUNG CDRW/DVD SM- 352B |
| | ユニバーサル シリアル バス コントローラ | USB 大容量 記憶装置デバイス | - |
| | SBP2 | - | SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス |
| | 記憶装置 | USB CD- ROM | IEEE 1394 CD-ROM |
| Windows 98 SE | CD-ROM | SAMSUNG CDRW/DVD SM- 352B | SAMSUNG CDRW/DVD SM- 352B |
| | ハードディスク コントローラ | Strage Adapter Bridge Module (TPP) | - |
| | ユニバーサル シリアル バス コントローラ | Logitec LDR USB Device | - |
| | SBP2 | - | SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス |
| | 記憶装置 | - | 1394/ USB CD-ROM |
| Windows 2000 | DVD/ CD- ROM ドライブ | SAMSUNG CDRW/DVD SM- 352B USB Device | LOGITEC LCW IEEE1394 SBP2 Device |
| | USB (Universal Serial Bus) コントローラ | USB大容量 記憶装置デバイス | - |

上のデバイスが登録されていない場合、本製品は認識されていません。いったんパソコンの電源を切り再度電源を入れて本製品を接続しなおしてみてください。

Windows 98 をご使用の場合は、電源を切る前に「？ その他のデバイス」の下に「？ USB Storage Adapter」という項目があるかどうかを確認してください。ある場合には、電源を切る前にその項目を削除して、再起動後に再度 USB ドライバをインストールしてください。

「デバイスマネージャ」の起動方法

Windows Me, 98 の場合、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「システムのプロパティ」ウィンドウで「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows XP、2000 の場合は、「マイコンピュータ」を右クリックして「管理」をクリックすると、「コンピュータの管理」が表示されますので、「デバイスマネージャ」をクリックします。

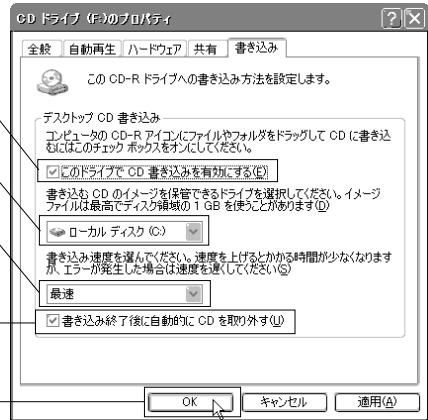
4.3 Windows XP で直接書き込みを行う場合

Windows XP で、ライティングソフトウェアを使用しないで直接 CD-R/RW へ書き込みを行う場合は、以下の手順で設定を確認してください。

コンピュータの管理者としてシステムにログオンし、「マイコンピュータ」から本製品のアイコンを右クリックして、表示されるプルダウンメニューから「プロパティ」をクリックします。

下のウィンドウが表示されますので、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックボックスにチェックを入れ、「CD イメージの保管先」、「書き込み速度」を設定して「OK」ボタンをクリックしてください。

- 1、「このドライブで CD 書き込みを有効にする」には必ずチェックを入れます。
2. CD イメージの保管先を指定します。
3. 書き込み速度を選択します。
4. 必要に応じてチェックを入れます。
5. 「OK」ボタンをクリックします。



以上で本製品側の設定は終了です。書き込み方法については Windows XP のヘルプをご参照ください。

4 . 4 使用環境について

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境(パソコン本体、メディアなど)の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下で本製品をご使用ください。

パソコン本体

本製品は各社のDOS/Vパソコン、およびNEC PC98-NXシリーズのうち、以下の条件を満たす機種で使用することができます。

IEEE1394ポートまたは、USBポートを搭載している機種。(USB 1.1はUHCI準拠。OHCI準拠のUSB1.1ポートは保証外とさせていただきます。)

CD-R/CD-RWメディアへ10倍速以上で書き込みを行う場合および、DVDビデオの再生を行う場合はパソコン本体にIEEE1394インターフェースまたは、USB 2.0インターフェースが装備されていること。

CD-R/RW書き込み時の条件

Celeron® 300MHz以上のCPUを搭載していること。

64MB以上のメモリを搭載していること。

DVDビデオを再生する場合の条件

Pentium 350MHz以上または、AMD Athlon プロセッサ以上のCPUを搭載

128MB以上のメモリを搭載

USB 1.1 接続ではDVDビデオの再生は行えません。

対応OS

本製品は以下のOSで使用することができます。全て日本語版に限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP HomeEdition/Professional

Windows Me

Windows 98 (SecondEdition 含む)

Windows 2000 Professional



ご注意

- ・Second Edition でないWindows 98 ではDVD ビデオの再生はできません。
- ・USB 2.0 インターフェースカードを使用して本製品を使用する場合、CD-R、CD-RW 書き込み時、またはDVD ビデオ再生時には、その他のPCカードを同時に使用しないでください。
- ・当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーのDOS/V パソコンで確認を行っております。ただし、発売されている全てのDOS/V パソコンで動作確認を行うことは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在致しますことをご承知おきください。また、自作パソコンやショップ製組み立てパソコンの場合、各種部品との相性などにより、本製品が正常に動作しない場合がございますことをご承知おきください。
(*1)OADGは「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。
- ・本製品は日本電気株式会社PC-9800 シリーズでは使用できません。

推奨メディア

本製品での書き込みには、以下の各社から発売されているメディアをご使用ください。これ以外のメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

52 倍速 /48 倍速

太陽誘電(株)「That's」 日立マクセル 三菱化学(株)

48 倍速以上に対応したメディアが必要です。

40 倍速以下

太陽誘電(株)「That's」 日立マクセル 三菱化学(株)

TDK

< CD-RW メディア >

(株)リコー 三菱化学(株)

CD-R/CD-RWメディアには対応する書き込み速度があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-R/CD-RWメディアをご使用ください。

CD-RW メディアには

「Ultra Speed タイプ」

「High Speed タイプ」

「Multi Speed タイプ」

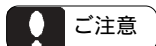
の3種類があります。ライティングソフトウェアから指定する書き込み速度により、使用できるメディアが異なりますので、その速度に対応したCD-RWメディアをご使用ください。詳細は8ページ「書き込み・読み込み速度について」をご参照ください。

4 . 5 その他

CD-RW メディアの読み取り互換性について

CD-RWメディアは書き換え型のメディアであるため、一部に未対応の読み取り装置があります。弊社（ロジテック株式会社）から発売されている製品のうち、以下の製品ではCD-RWメディアを読み取ることができませんのでご注意ください。（最新機種に関する情報は弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。）

- ・ 20倍速以下のCD-ROMユニット
- ・ LCD-Z40AK
- ・ CD-ROM 6倍速以下のPD/CD-ROMユニット
- ・ LCW-7**、LCW-D7**、LCW-M7** で始まるCD-Rユニット
- ・ LCW-8**、LCW-D8** で始まるCD-Rユニット
- ・ LCW-1000

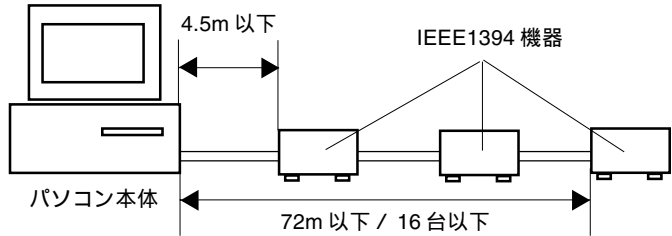


ご注意

他メーカーのCD-ROMドライブ、パソコン内蔵のCD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応しているかどうかについては、各ドライブメーカー、またはパソコンメーカーにお問い合わせください。

4.6 IEEE1394 機器の増設について

本製品のように IEEE1394 コネクタを 2 個装備している IEEE1394 機器は数珠つなぎ（デージーチェーン型）に増設することができます。



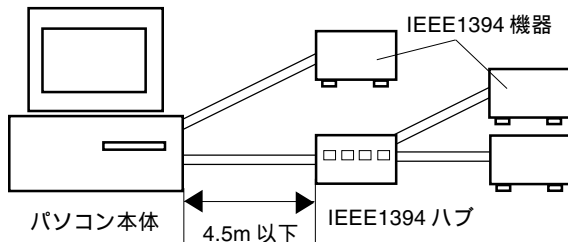
このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。



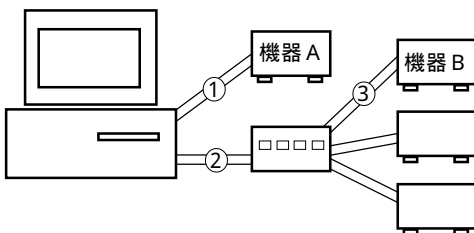
ご注意

デージーチェーン型に増設する場合、ホットプラグ（電源 ON 状態での取り外し）を行う機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

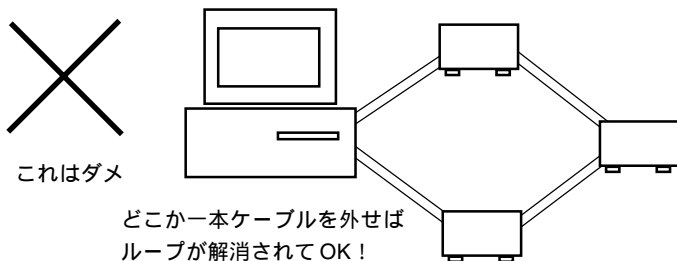
IEEE1394 コネクタを複数装備したインターフェースボードや、IEEE 1394 ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A:～Z:でシステムが使用していないもの）に制限されます。



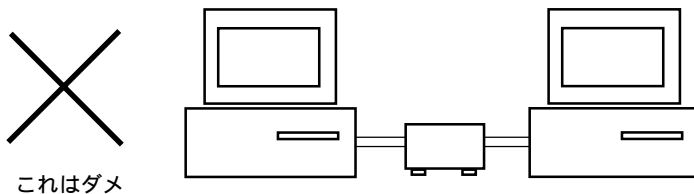
また、ツリー型の場合、IEEE1394 機器間で経由できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。例えば下図の「機器 A」と「機器 B」の間には 3 本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも 16 本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってはけません。



また、接続の中にパソコン本体が 2 台以上あってはいけません。



どっちで使うのかはっきり決めてよ！

ハードウェア仕様

| | | | |
|--------------------------|--|--|-----------|
| 機種名 | | LCW - 52DVFU2 | |
| ドライブメーカー | | SAMSUNG ELECTRONICS Co.,Ltd | |
| 設定可能な 書き込み速度 *1 *2 | CD- R | 52 倍速、48 倍速、40 倍速、32 倍速 24 倍速、16 倍速、8 倍速、4 倍速 | |
| | CD- RW | 24倍速、12 倍速 10 倍速、4倍速 | |
| 読み込み速度 *1 *3 | DVD-ROM | 最大 16 倍速 (Single Layer) *4 最大 8倍速 (Dual Layer) | |
| | DVD- R DVD- RW DVD+ R DVD+ RW | 最大 6 倍速 *4 | |
| | DVD- RAM | 最大 2 倍速 *4 | |
| | CD- ROM | 最大 52 倍速 *2 | |
| | CD- R CD- RW | 最大 40 倍速 *2 | |
| ローディング方式 | | トレイ方式 | |
| バッファメモリ | | 2MB | |
| インターフェース | | IEEE 1394- 1995 P1394a USB 2.0 High-Speed (USB 1.1互換) | |
| コネクタ形状 | | IEEE 1394 コネクタ 6 ピン × 1 IEEE 1394 コネクタ 4 ピン × 1 USB シリーズ Bコネクタ × 1 | |
| ヘッドフォン出力 | | 0.6 V | |
| 環境条件 *5 | 動作時 | 温度 | 10 ~ 35 |
| | | 相対湿度 | 20% ~ 80% |
| | 保管時 | 温度 | - 10 ~ 50 |
| | | 相対湿度 | 10% ~ 90% |
| 入力電圧 | | AC100V ± 10 % 50 / 60 Hz | |
| 消費電力 (定格) | | 20 W | |
| 外形寸法 | 幅 × 高さ × 奥行き | 160 × 59 × 280 mm *6 | |
| 質量 | | 2.1 kg *7 | |
| 設置方向 | | 水平 / 垂直 | |

*1 8 ページ「書き込み・読み込み速度について」参照

*2 USB 1.1 接続時は最大 8 倍速。

*3 USB 2.0 接続時の理論値

*4 USB 1.1 では標準速未満。

*5 ただし、結露なきこと。

*6 横置き時、突起部を除く。

*7 本体のみ。



古紙配合率100%再生紙を使用しています